

授業科目(ナンバリング)	権利擁護を支える法制度 (DB301)			担当教員	山下 彦		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
『人間尊重』を基本理念に、法に共通する基礎的な知識とともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎、権利擁護の意義と支える仕組みについて理解を深める。また、権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際、権利擁護を实践する過程で直面しうる問題、ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解を深める。以上が本講義のねらいである。なお、将来的なゴールは、法律等の的確な理解だけでなく、社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症等の日常生活上の支援が必要な者に対し、専門職としてどのように関わり支援していくかを考え、実践できるようになることである。							①④⑤⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解できる。またソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解できる。				定期試験	60%	
情報収集、分析力	権利擁護を支える法制度と成年後見制度に関する課題について情報をもとに実践を分析することができる。				議論・発表	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	権利擁護を支える法制度に関する理解を深めるため、授業中に協働して取り組む力を獲得する。 権利擁護を支える法制度に関する課題について議論し述べることができる。				授業態度 議論・発表	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(60%)は筆記試験とする。問題には、国家試験過去問題も含む予定である。 授業への積極的な参加姿勢に関しては、授業中に行う議論・発表(30%)や毎回の授業態度(10%)で評価する。 授業終了時にリアクションペーパーを配布し意見を書いてもらい(出欠確認に使うこともある)、ポートフォリオや次回授業の冒頭にフィードバックを行う。							
授業の概要							
授業は、主に講義形式にて下記の内容を中心に解説をしていく。なお、学習する内容によって、事例等を活用しディスカッションやグループワークを行う。 ・ソーシャルワーク活動と権利擁護を支える法(憲法、民法、行政法の基礎)との関わりを学ぶ。 ・成年後見制度、日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業を学ぶ。 ・権利擁護に係る組織、団体、専門職の役割を学ぶ。 ・成年後見活動、権利擁護活動の実際を学ぶ。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 9 権利擁護を支える法制度』中央法規出版 2021年 参考書：適時紹介する 指定図書：教科書と同じ							
授業外における学修及び学生に期待すること							
専門用語が多いこともあり、予習・復習として、教科書の該当箇所をしっかりと読んでおくこと。その際、予習においては内容に対して疑問を具体的に想像しておくこと、また復習においては知識の定着を心がけておくこと。そして、本科目が国家試験の受験科目の1つであることを忘れずに受講してほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション <u>法の基礎</u>	授業の進め方について説明する 権利擁護を支える法制度を学ぶ目的、意義を理解する 法の基礎について理解する	予習：pp.46-68 復習：pp.46-68
2	<u>ソーシャルワークと法の関わり</u>	ソーシャルワーク活動において想定される法律問題、 憲法、行政法、民法、社会福祉関連法について学ぶ	予習：pp.2-45 復習：pp.2-45
3	<u>権利擁護の意義と支える仕組み①</u>	権利擁護の意義、福祉サービスの適切な利用と苦情解決の仕組みについて学ぶ	予習：pp.70-92 復習：pp.70-92
4	<u>権利擁護の意義と支える仕組み②</u>	虐待禁止法、差別防止法の概要について学ぶ	予習：pp.93-102 復習：pp.93-102
5	<u>権利擁護の意義と支える仕組み③</u>	意思決定支援ガイドラインについて学ぶ	予習：pp.106-129 復習：pp.106-129
6	<u>権利擁護活動で直面しうる法的諸問題①</u>	インフォームドコンセント、秘密・プライバシー・個人情報について学ぶ	予習：pp.130-142 復習：pp.130-142
7	<u>権利擁護活動で直面しうる法的諸問題②</u>	権利擁護活動と社会の安全について学ぶ	予習：pp.143-150 復習：pp.143-150
8	<u>権利擁護に関わる組織、団体、専門職①</u>	家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会等、児童相談所の役割について学ぶ	予習：pp.152-167 復習：pp.152-167
9	<u>権利擁護に関わる組織、団体、専門職②</u>	弁護士、司法書士、公証人、医師、社会福祉士の役割について学ぶ	予習：pp.168-185 復習：pp.168-185
10	<u>成年後見制度①</u>	成年後見の概要について学ぶ	予習：pp.188-193 復習：pp.188-193
11	<u>成年後見制度②</u>	後見・保佐・補助の概要について学ぶ	予習：pp.194-205 復習：pp.194-205
12	<u>成年後見制度③</u>	任意後見制度、成年後見人等の義務と責任について学ぶ	予習：pp.206-210 復習：pp.206-210
13	<u>成年後見制度④</u>	任意後見制度の最近の動向について学ぶ	予習：pp.211-219 復習：pp.211-219
14	<u>成年後見制度⑤</u>	日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業との連携について学ぶ	予習：pp.221-145 復習：pp.221-145
15	権利擁護活動の実際	事例から権利擁護活動の実際について学ぶ	予習：事例を検討する 復習：自分の考えをまとめる、定期試験の準備
16	定期試験	教科書、配布資料の中から出題する	